

第7回 放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 2017 平成 29 年 3 月 13 日(月曜日)
2. 開催場所 弊社事務局
3. 委員出席 委員総数 5 名、出席委員数 4 名
 - (1) 出席委員の氏名 小坂康雄、中村真弓、得上成子、栗原さつき
 - (2) 欠席委員の氏名 安藤一宏、
 - (3) 放送事業者側出席者名 技術統括・放送担当 岩田豊 放送局副局長 棟方智子

4. 議題及び議事の概要、審議内容

はじめに 放送担当より挨拶、審議員委員長より挨拶

- (1) 報告事項 石原志津子の Brush Up Life
- (2) 審議事項 上記番組について、4 月度からの新番組について
- (3) その他事項 今後の放送番組審議会開催日程について

5. 審議機関の答申または意見に対してとった措置の内容

- (1) 放送番組「石原志津子の Brush Up Life」の内容に関する説明を行い、同録の再生ののち、各事項を審議致しました

(放送担当より)

今回の報告番組は本 3 月度よりスタートした新番組で、毎週木曜日の午後 1 時(13:00)から放送しています。ご案内の通り、この番組の基本的な構成は、家族に介護が必要となった、家族や自分自身が、怪我や病気で入院してしまった等々、日頃の生活の中で、特に身体にかかる問題を中心に、介護保健事業の経営に携わるパーソナリティ本人が、実際の経験から「これだけは知っておいて欲しい」という内容をピックアップして、毎回リスナーの皆様にお届けするという内容になっています。担当するパーソナリティはラジオ出演等の経験が全くありませんでしたので、本番組企画ののち、2 月度中盤より局内での研修を重ね、現在も放送局が収録サポートを続けていますが、徐々に機器操作等も習得されつつあり、ラジオにおけるトーク・ルールなども慣れてきたところです。今回ご審議いただくのは第 2 回目の 3 月 9 日に放送された内容となります。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

(番審委員より)

身近な問題を丁寧な説明とともにお話いただき、何度も聴きたいと感じました。放送時間帯にお聴きいただくことができないリスナーに配慮して、どこか別の時間帯で再放送することを検討できないでしょうか。

平成 29 年	株式会社エフエムこしがや	CFM	第 7 回番審
---------	--------------	-----	---------

(番審委員より)

実経験に元づくということに大変感心しました。ただ、この問題をもっと詳しく、と思って聴いていると、後半は別な話題になっていて、少しもったいないなと思いました。30分という短い時間の中であれば、毎回テーマをひとつに絞って、その分内容を深掘りされたら、より専門的になって、興味を強く持てるように思いました。いずれにしても今後に大きく期待を持てる番組だと感じました。

(番審委員より)

パーソナリティの自然な話し方に好感を持ちました。また局のサポートで、それぞれ話題の正確性や、補助金など制度の裏付けをチェックされているとのこと。大変安心感を覚えます。自分自身、まさに当事者となった経験を思い出しました。

(放送担当より)

多くのご意見を頂き大変有り難うございました。今回皆さまより頂戴しましたご意見は、整理し担当パーソナリティにもお伝えしたいと思います。また今回のご意見は、当該番組の今後の制作にも大いに反映させて頂きたいと思っております。大変ありがとうございました。

(2)

(放送担当より)

次に配布の資料より、新年度4月から予定している新番組を含む放送番組表(予定)についてご説明させていただきます。特に4月度以降は生放送枠の充実をひとつの目標としています。既存の収録番組も、担当パーソナリティの予定等を勘案しつつ、随時生放送へと移行し、より新鮮な情報をリスナー皆様にお伝えすることができるようになるとともに、日頃より「チョッと宣伝、紹介したい、取材してみたい」といった、生放送枠であればこそ実現できるニーズの取り込みを積極的に行ってゆきたいと考えています。

(番審委員より)

コミュニティ放送局は、大手と異なるローカルっぽさも魅力のひとつだと思います。色々期待がかかっているわけですが、あまり背伸びせず、出来ることを少しずつ消化していきましょう。番組審議委員としても大いにバックアップしたいと思います。

(番審委員より)

コミュニティエフエムならではの、防災の面での役割を実現できるよう努力をお願いします。市民活動のひとつとしても、行政へのアピールを応援します。

(番審委員より)

広告塔を積極的に活用していただきたいです。番組表をより多くの方に見てもらいましょう。現実のところ、周りでも「聴いているよ」という方が増えてきているように感じます。

(放送担当より)

様々なご意見を頂戴しました。大変有り難うございました。今後とも、それぞれ放送番組に関しては、教育・教養・娯楽等々、番組種別のバランスもよく考えながら、より一層の地域密着感のある番組作りに努力して参りたく存じます。また、皆さまの地域や近隣に於かれましても、何かありましたらぜひご紹介ください。今後の番組再編とともに、積極的に取材や紹介などさせて頂ければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(3) その他事項・今後の放送番組審議会開催日程について

次回は 平成 29 年 5 月 18 日(木) 10 : 30～

次々回は 平成 29 年 7 月 20 日(木) 10 : 30～

上記の通りご予約ください。

6. 審議機関の答申または意見の概要の公表

公表の方法 放送事業者が行う放送(放送番組審議会が、必要とした場合に限る。)

当該事項を記載した書面の放送事業者の本社への備置き

放送事業者の電子公告(<http://www.koshigaya.fm/>)で行なう。

公表の内容 上記 1.3 の人数及び 4 から 6 までの事項

公表年月日 平成 29 年 3 月 20 日

7. その他参考事項

特に無し

平成 29 年	株式会社エフエムこしがや	CFM	第 7 回番審
---------	--------------	-----	---------